



6/26 江戸時代から繋ぐ 病疫退散の祈り

八坂神社の例大祭「尾道祇園祭」が開催されました。例年は「三体廻し」での勇壮な姿が見どころですが、新型コロナウイルス感染リスクを避けるため、今年は昨年に続き、軽トラックに車載したみこしが町内を巡行する形式で行われました。「ヨイヤサーノ ヨイヤサーノ」と威勢の良い掛け声を通りに響かせながら、新型コロナウイルスをはじめとする病疫退散を祈りました。



6/28 暑～い夏に おひとついかが

梅雨時期の雨が少なく、甘く仕上がった尾道特産「桃」の出荷が最盛期を迎え、色鮮やかな早生品種「日川白鳳」「赤宝」が次々に運び込まれました。JA尾道市桃部会山田清部会長(70)は「春先の霜で心配したが、例年通り美味しい桃が作れました。新たな品種にも挑戦しており、今後も産地を守っていききたい」と話していました。JA職員により一つひとつ丁寧に箱詰めされ、8月下旬まで主に県内市場に「川中島白桃」などが出荷されます。



6/30 小学生がチョークアートに挑戦!

因島南小学校で、チョークアートで除虫菊を描く授業が行われ、この日は1年生34人が作品を制作しました。児童たちは、それぞれに配られた黒板に、白・黄緑・黄色3色のオイルパステルを使って除虫菊を描きました。

講師の大原郁香さんは、「写実的だったり想像の世界を描いていたりと、一人ひとりの世界観が出る作品となりました。表現することの楽しさを味わい、アートに興味を持つきっかけになれば嬉しいです」と語っていました。



7/17 「渚の交番SEABRIDGE」が 完成しました

日本財団の支援を受け、因島大浜町に「渚の交番SEABRIDGE」が完成し、7月17日に開所式が行われました。300冊を備える絵本ギャラリーにはカフェが併設され、家族で楽しめる空間になっています。窓越しに眺める瀬戸内のきらめきは、訪れる人に特別な時間を与えてくれることでしょう。海と子どもをつなぐ、地域コミュニティの拠点となることが期待されています。